

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月22日

都道府県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県磐田市下野部2280番地

氏 名 (株)ロック・フィールド静岡ファクトリー

ファクトリーマネージャー 菊島 昭崇

電話番号 0539-62-5700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ロック・フィールド 静岡ファクトリー
事業場の所在地	静岡県磐田市下野部2280番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

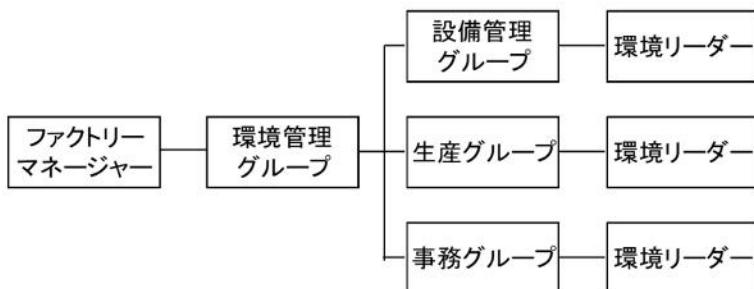
① 事業の種類	食料品製造
② 事業の規模	生産出庫金額：232億8000万円（令和3年4月期）
③ 従業員数	698名（令和3年4月期）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（1）、別紙（2）

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

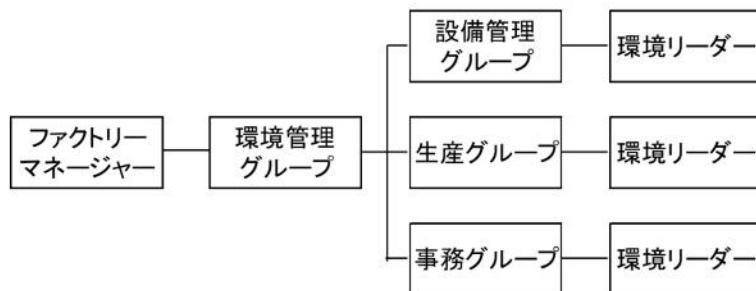
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
	排出量	264.3 t	641.4 t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラ：サーマルリサイクル、マテリアルリサイクル用途の分別徹底 ・動植物性残さ：葉野菜・根菜・果物残渣の破碎脱水処理と二次脱水処理による減容 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
	排出量	265.4 t	650 t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類：①分別廃棄の精度向上によるリサイクル化の質向上②廃プラ圧縮機による減容 ・動植物性残さ：一部堆肥化原料として有価物へ転換の継続 <p>※コロナ禍の影響から回復傾向で生産増加しても廃棄物量は前年度比を維持する計画</p>			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	1. 廃プラスチック類、動植物性残渣、脱水汚泥、金属くず、ガラス陶磁器くず、廃油 2. 月単位で排出廃棄物量・処分コストの分析、社内報告と従業員教育
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・今後の新規分別予定は無し

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・瓶		廃油
	排出量	13.3	t	35.2
(これまでに実施した取組)			・ガラス・瓶類：（有）三和システム輸送に回収を委託しビン類への再商品化等にリサイクル ・廃油：（有）ヤマ油産業へ処理委託し工業用油にリサイクル	
②計画	【目標】	ガラス・瓶	廃油	
	産業廃棄物の種類	13	t	35
(今後実施する予定の取組)			・ガラス・瓶類：（有）三和システム輸送に回収を委託しビン類への再商品化等にリサイクル ・廃油：（有）ヤマ油産業へ処理委託し工業用油にリサイクル	

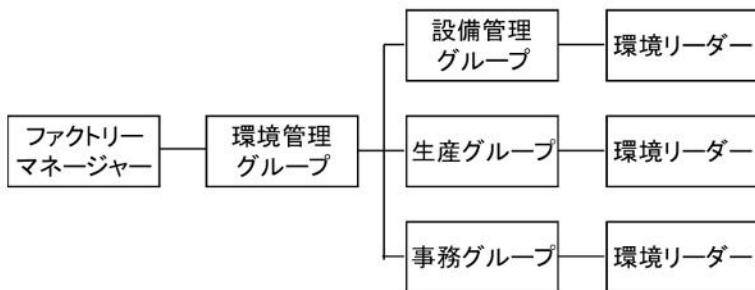
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	1. 廃プラスチック類、動植物性残渣、脱水汚泥、金属くず、ガラス陶磁器くず、廃油 2. 月単位で排出廃棄物量・処分コストの分析、社内報告と従業員教育
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・今後の新規分別予定は無し

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	脱水汚泥				
	排出量	4647.5 t	t			
(これまでに実施した取組)		・凝集剤の投入量のこまめな調整と脱水率の安定維持のための排水プラントの監視				
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥				
	排出量	4706 t	t			
(今後実施する予定の取組)		・凝集剤の投入量のこまめな調整と脱水率の安定維持のための排水プラントの監視				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	1. 廃プラスチック類、動植物性残渣、脱水汚泥、金属くず、ガラス陶磁器くず、廃油 2. 月単位で排出廃棄物量・処分コストの分析、社内報告と従業員教育
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・今後の新規分別予定は無し

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 3 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	脱水汚泥
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	4290 t
(これまでに実施した取組) 排水プラントの運転状況の監視と定期的な保守・点検	
【目標】	
産業廃棄物の種類	脱水汚泥
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	4344 t
(今後実施する予定の取組) 排水プラントの運転状況の監視と定期的な保守・点検	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
①現状	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	【前年度（令和 3 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
	全処理委託量	264.3 t	641.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	262 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2.3 t	641.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
・廃プラ：サーマルリサイクル、マテリアルリサイクル用途の分別徹底 ・動植物性残さ：葉野菜・根菜・果物残渣の破碎脱水処理と二次脱水処理による減容			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 3 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	ガラス・瓶 廃油
全処理委託量	13.3 t 35.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t 0 t
再生利用業者への処理委託量	13.3 t 35.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t 0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t 0 t
(これまでに実施した取組) ・ガラス・瓶類：（有）三和システム輸送に回収を委託しビン類への再商品化等にリサイクル ・廃油：（有）ヤマ油産業へ処理委託し工業用油にリサイクル	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	全処理委託量	357.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	357.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組) ・凝集剤の投入量のこまめな調整と脱水率の安定維持のための排水プラントの監視			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残さ
	全処理委託量	265.4 t	650 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	263 t	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	2.4 t	650 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	
②計画		(今後実施する予定の取組)		
		<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック⇒生産現場で使用するプラスチックシート、包材の無駄削減、原材料の包装形態薄肉化、使用するプラスチック資源の削減 ・動植物性残渣⇒葉野菜破碎脱水残渣の一部を有価物転換 		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

		【目標】		
産業廃棄物の種類		廃油	脱水汚泥	
全処理委託量		35 t	362 t	
優良認定処理業者への 処理委託量		0 t	0 t	
再生利用業者への 処理委託量		35 t	362 t	
認定熱回収業者への 処理委託量		0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)		<ul style="list-style-type: none"> ・不要な廃油を出さないための、現場従業員の意識の啓蒙、油の酸化度測定による使用基準を決め使用回数の延長 ・排水処理プラントの運転監視と脱水率の安定維持 		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙(1)

(株)ロック・フィールド 静岡ファクトリー 産業廃棄物発生フロー

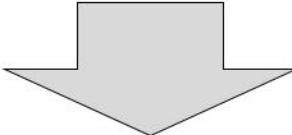
	動植物性 残渣	廃プラ類 (焼却)①	廃プラ類 (RPF)②	クリストラッ プ汚泥	汚泥	段ボー ル・雑紙 (有価物)	野菜残渣 (有価物)	金属くず (有価物)	ガラスく ず (有価物)	廃油 (有価物)
【生産グループ】										
ピーリング	○	○	○	○						
トリミング	○	○	○	○						
スパイス	○	○	○	○						
ベジタブル	○	○	○	○						
カッティング	○	○	○	○						
パッキング	○	○	○	○						
クッキング	○	○	○	○						
ミキシング	○	○	○	○						
マヨドレ	○	○	○	○						
ブレッダリング	○	○	○	○						
【設備管理グループ】										
排水処理					○					
保全		○	○							
【事務グループ】										
ウォッシング	○	○	○	○						
製造技術	○	○	○	○						
生産管理	○	○	○	○						
物流		○	○							
総務	○	○	○							
レストラン	○	○	○	○						
品質管理	○	○	○							



ダストステーションへ集積、一時保管



産業廃棄物処理業者へ処理を委託



有価物引取り業者

